

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	マルシュ町田センター			
○保護者評価実施期間	2025年10月31日 ～ 2025年11月7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年10月31日 ～ 2025年11月7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が取り組む日々の活動プログラムの豊富さ。	前月の児童の反応や生活を見て活動プログラムを決めたり、人気のあるプログラムを取り入れるなどし、毎日ほぼ違った活動プログラムの実施を意識している。	人気の高いイベントは内容も固定化されがちな為、日々の子どもたちの成長に合わせた発展系にて提供に創意工夫を取り入れたい。
2	公表している支援プログラムと支援内容の合致。	児童の特性も可能な限り配慮した日々の配置を行っている為、無理なく当事業所の特色や支援プログラムにあった支援内容の実施が行えている。	
3	保護者との密な連携。	電話だけでなく、システムを利用することで可能な限りの情報共有に対するハードルを下げ、より密な連携へと繋げている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の薄さ。	立地や地域的に周囲との交流可能な機会を作る事に困難さを抱えている。	会社としては別途地域交流として顔つなぎをしている為、そこからの発展を図っていきたい。
2	保護者同士の交流機会の少なさ。	これまで保護者より交流機会について強いご要望がなかったため、施設側でも最優先の課題として位置づけていなかった。 一方で、保護者からは、「積極的な交流は望まない」という意見もあり、保護者間での交流のニーズに対する考えが多様であるため、どのような形で機会を提供すべきか検討している状況。	強く要望が出た際には該当保護者が交流出来る機会を事業所として設けたい。
3			